

卸売市場の現在と 未来を考える

—流通機能と公共性の視点から—

いま日本の卸売市場そして卸売市場制度は、かつてない
転換期を迎えています。このような状況下で、改めて卸
売市場が果たす流通機能とその公共性について、歴史・
実証・理論などの多面的な視点から考えていきます。

[スケジュール]

●座長：小野雅之（神戸大学）、坂爪浩史（北海道大学）

13:00-13:05 開会の挨拶 学会長 玉真之介（徳島大学）

13:05-13:20 座長解題 小野雅之（神戸大学）

13:20-15:50 報告

第1報告：矢野 泉（広島修道大学）
「卸売市場制度の変遷と公共性」

第2報告：木立真直（中央大学）
「都市の社会インフラとしての卸売市場の公共性」

第3報告：戸井和久（全国農業協同組合連合会）
「生鮮食品流通における卸売市場の展望
—スーパーおよび産地の視点から—」

*報告テーマは当日変更の場合もあります。

15:00-15:30 コメント

細川允史（卸売市場政策研究所）
新 雅史（東洋大学）
渡辺達朗（専修大学）

15:30-16:50 ディスカッション

16:50-17:00 座長総括 閉会

[日時]

2018年

3月30日(金)

13:00 ~ 17:00

[会場]

中央大学後楽園キャンパス
5号館3階 5333号室
〒112-8551 東京都文京区春日1-13-27

*資料代として
参加費 500円
(学生・院生は無料)



東京メトロ丸ノ内線・南北線「後楽園駅」徒歩約5分
都営三田線・大江戸線「春日駅」徒歩約6分

[定員] 200名

[主催] 日本農業市場学会

当日参加いただけますが、事前申込は
3月15日(木) までにEメールでお申し込みください。

■Eメール：mkidachi@tamacc.chuo-u.ac.jp
(担当：中央大学商学部 木立真直)

※本文に、会社(学校)名、所在地、電話番号、氏名を
ご記入ください。